

特別調査「経営者の健康管理と事業の継続について」

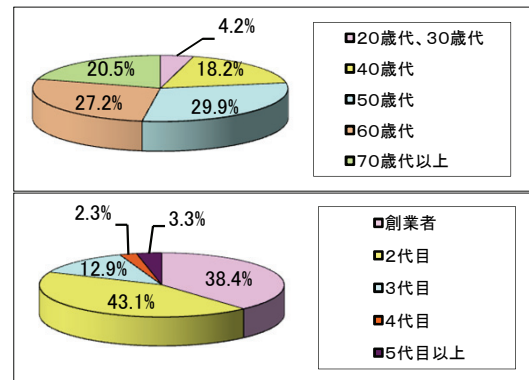
問1 貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。下記の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、現在の社長（代表者）は何代目ですか。下記の6～0の中から1つ選んでお答え下さい。

（社長の年齢階層）

1. 20歳代、30歳代
2. 40歳代
3. 50歳代
4. 60歳代
5. 70歳代以上

（社長の代）

6. 創業者
7. 2代目
8. 3代目
9. 4代目
0. 5代目以上



社長（代表者）の年齢階層について、最も多い回答は「50歳代」29.9%、次いで「60歳代」27.2%という結果になりました。また、現在の社長（代表者）は何代目であるかについて、最も多い回答は「2代目」43.1%、次いで「創業者」38.4%という結果になりました。

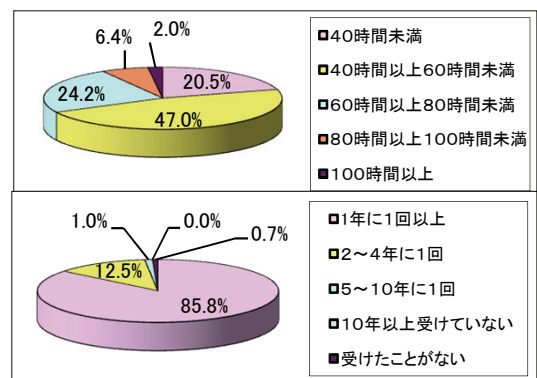
問2 健全な経営のためには、社長（代表者）の健康が大切です。社長（代表者）の先月の労働時間（経営に費やした時間）は、1週間あたりにするとどの程度ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、健康診断をどの程度の頻度で受けていますか。下記の6～0の中から1つ選んでお答え下さい。

（1週間あたりの労働時間）

1. 40時間未満
2. 40時間以上60時間未満
3. 60時間以上80時間未満
4. 80時間以上100時間未満
5. 100時間以上

（健康診断を受ける頻度）

6. 1年に1回以上
7. 2～4年に1回
8. 5～10年に1回
9. 10年以上受けていない
0. 受けたことがない



社長（代表者）の先月の労働時間（経営に費やした時間）は、1週間あたりにするとどの程度になるかについて、最も多い回答は「40時間以上60時間未満」47.0%、次いで「60時間以上80時間未満」24.2%という結果になりました。また、健康診断をどの程度の頻度で受けているかについて、最も多い回答は「1年に1回以上」85.8%、次いで「2～4年に1回」12.5%という結果になりました。

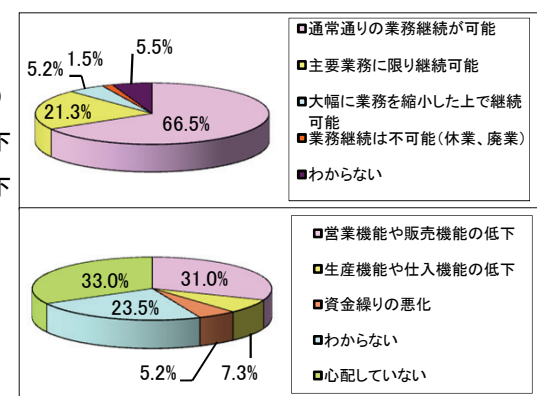
問3 仮に今、社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社では、どの程度の業務継続が可能ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、休養中に特に心配される貴社の機能の低下や悪化はどのようなものですか。6～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

（業務継続）

1. 通常通りの業務継続が可能
2. 主要業務に限り継続可能
3. 大幅に業務を縮小した上で継続可能
4. 業務継続は不可能（休業、廃業）
5. わからない

（心配される機能の低下や悪化）

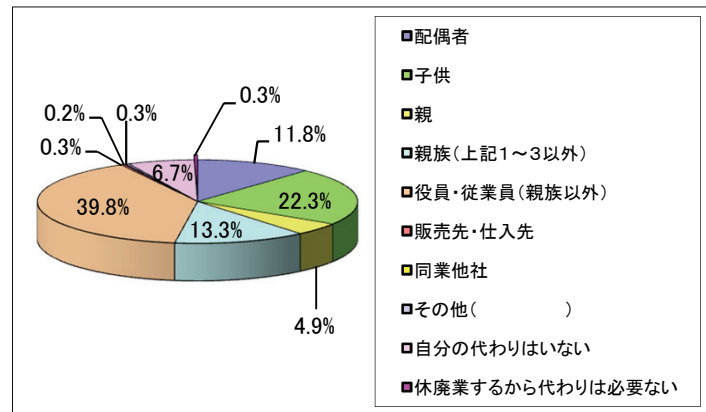
6. 営業機能や販売機能の低下
7. 生産機能や仕入機能の低下
8. 資金繰りの悪化
9. わからない
0. 心配していない



社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされた場合、どの程度の業務継続が可能であるかについて、最も多い回答は「通常通りの業務継続が可能」66.5%、次いで「主要業務に限り継続可能」21.3%という結果になりました。また、休養中に特に心配される機能の低下や悪化はどのようなものであるかについて、最も多い回答は「心配していない」33.0%、次いで「営業機能や販売機能の低下」31.0%という結果になりました。

問3に続いて、社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社には、休養中の社長（代表者）の事業を代行できる人がいますか。1～0の中から1つ、最も当てはまるものを選んでお答えください。

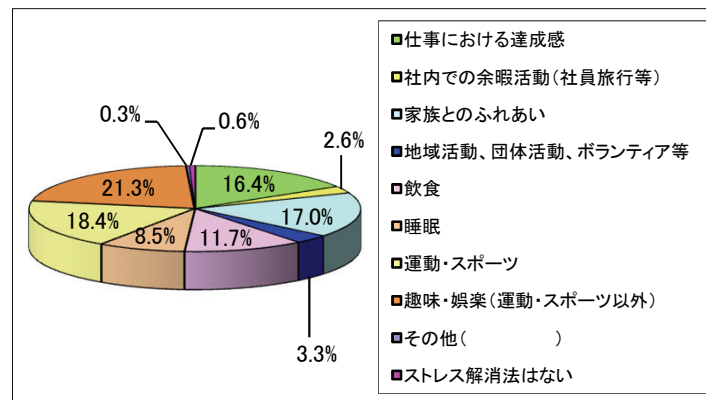
1. 配偶者
2. 子供
3. 親
4. 親族（上記1～3以外）
5. 役員・従業員（親族以外）
6. 販売先・仕入先
7. 同業他社
8. その他（ ）
9. 自分の代わりはない
10. 休廃業するから代わりは必要ない



社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされた場合、休養中の社長（代表者）の事業を代行できる人がいるかについて、最も多い回答は「役員・従業員（親族以外）」39.8%、次いで「子供」22.3%という結果になりました。

問5 社長（代表者）にお尋ねします。あなたのストレス解消法は何ですか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 仕事における達成感
2. 社内での余暇活動（社員旅行等）
3. 家族とのふれあい
4. 地域活動、団体活動、ボランティア等
5. 飲食
6. 睡眠
7. 運動・スポーツ
8. 趣味・娯楽（運動・スポーツ以外）
9. その他（ ）
0. ストレス解消法はない



社長（代表者）のストレス解消法について、最も多い回答は「趣味・娯楽（運動・スポーツ以外）」21.3%、次いで「運動・スポーツ」18.4%という結果になりました。